

第 1 回 館山市議会定例会会議録

(第 4 号)

1 平成3年3月12日（火曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1 番 脇田 安保	2 番 永井 龍平
3 番 田沢 勝信	4 番 庄司二三男
5 番 岩村 勝弘	6 番 山崎 雅己
8 番 鈴木 勝美	9 番 山口 康雄
10 番 鈴木 忠夫	11 番 神田 守隆
12 番 榎本 春光	13 番 山中金治郎
14 番 小宮 利夫	15 番 横溝 功
16 番 石井 昌治	17 番 石井 謀
18 番 日下 君敏	19 番 川名 正二
20 番 福原 勤	22 番 黒川 平治
23 番 流山源次郎	25 番 渡辺 昭夫
26 番 近藤 好雄	28 番 飯田 義男

1 欠席議員 2名

7 番 生稲 陞	27 番 林 豊
----------	----------

1 出席説明員

市 長 庄司 厚	助 役 小幡 清之
収 入 役 渡辺 弘	市長公室長 錦織 茂
総 務 部 長 二通 英雄	民生部長 佐藤 澄雄
経 済 部 長 安西 良一	水道課長 鈴木 信一
教 育 委 員 会 長 福原 修	

1 出席事務局職員

事 務 局 長 川上 義雄	事 務 局 長 補 佐 兵藤 恭一
書 記 鈴木 哲	書 記 鈴木 修一
書 記 加藤 浩一	

1 議事日程（第4号）

平成3年3月12日午前10時開議

- 日程第1
- 議案第1号 平成3年度館山市一般会計予算
 - 議案第2号 平成3年度館山市国民健康保険特別会計予算
 - 議案第3号 平成3年度館山市老人保健特別会計予算
 - 議案第4号 平成3年度館山市ユースホステル特別会計予算
 - 議案第5号 平成3年度館山市学童災害共済事業特別会計予算
 - 議案第6号 平成3年度館山市水道事業特別会計予算
 - 議案第7号 平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

開 議 午前10時02分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数24名、これより第1回市議会定例会第4日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、議案第1号乃至議案第7号平成3年度一般会計及び各特別会計予算を一括して議題といたします。

質疑応答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。なお、発言の際はページをお示しくださるようお願いいたします。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 平成3年度の館山市予算案についてお尋ねをいたします。私の質問は予算の事項別明細書に沿って進めさせていただきます。

まず、第1点は固定資産税及び都市計画税についてでございます。25ページをお開きください。固定資産税は対前年度比で1億1,192万4,000円の増となっております。また、26ページを見ますと、都市計画税は同じく対前年

度比で 2,553万 3,000円の増となっております。いずれも市民にとっては大きな増税かと思います。評価替えが行われたことによる増税ではないかと思うのでありますが、この大幅な増税の理由について御説明をいただきたいと思います。

次に、固定資産税の減税についてであります。半島振興法による特例の減税で、平成2年度ではたった1社で 9,300万円もの減税がされておりました。この予算案の中ではこうした半島振興法の特例による固定資産税の減税はどのくらいあるものと見込んでおりますか、御説明をいただきたいと思います。

次に、特定の1社のために 9,300万円もの大きな減税がされていながら、その一方で評価替えによって市民にとっては大幅な増税が行われようとしております。この際、都市計画税の税率を引き下げるなどの減税を市民に対して実施するお考えはありませんですか、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、大きな第2点に移ります。78ページをお開きください。老人福祉費についてでございますが、ひとり暮らしなどのお年寄り世帯への給食サービス事業についてお伺いをいたします。鹿児島県の隼人町、3万人の町であります。78年といいますから13年ほど前からお年寄り世帯への給食事業を実施し、現在では朝夕2食、毎日100人に給食を届けているというふうに伺っております。社会福祉協議会が実施主体となり、町の年間の予算は約1,000万円とのことでありました。12月市議会でのこの問題についての私の提案に対して、市は給食希望者のニーズ調査を実施中とのことでありました。その調査結果によって検討していくということであったのでありますが、この調査の結果がどのようなになったのでありましょうか。また、今後その実施についてはどのようにお考えでありますか、御説明をいただきたいと思います。

大きな第3点は83ページの児童福祉費についてであります。新年度からいわゆる学童保育が、従来の都市児童健全育成事業から指導員の人件費補助を含む児童クラブ事業として、厚生省の補助事業として始まろうとしております。こうした中で、市としても保護者の意向調査を行い、実施に向けて前向きに検討していくとの答弁がさきの12月市議会で行なわれました。この4月か

ら新たな1年生を迎えることになりますが、共稼ぎ世帯等では一刻も早く実施してもらいたいとの声を聞きます。市の検討はその後どのようなになりましたか。また、実施についてはいつごろからを想定しているのでしょうか、御説明をいただきたいと思います。

次に第4点、92ページをお開きください。環境衛生費についてであります。市民の生活環境を守ることは市の大切な仕事であります。最近、館山港周辺の住民の方々から館山港を利用するダンプカーの往来のために騒音と粉じんに困っているとのことがありました。この館山港周辺の住民とダンプカーを扱う会社との間で協定が結ばれていると聞くのでありますが、市はこの協定の内容について承知しておりますか、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、93ページの排水路浄化施設設置工事請負費に関連してお尋ねを申し上げます。新年度では六軒町排水路などの浄化施設を設置することとありますが、この排水路浄化施設の設置についての年次計画について御説明をいただきたいと思うのであります。新年度に当たりましては汐入川の浄化を中心のテーマとしているのではないかと理解するのでありますが、そればかりかそれ以外にも那古排水路等、浄化施設の設置が必要な箇所が大変あるかと思しますので、それらについての年次計画を御説明いただきたいと思うのであります。

次に、第5点は港湾管理費についてであります。123ページをお開きください。栈橋の補修費として200万円が計上されておりますが、説明書によりますと那古栈橋の補修を行うとのこととありますが、この栈橋の補修については少なくともこの夏前に完成させていただきたいと思うのでありますが、この工事はいつごろを予定しているのか、お聞かせをいただきたいと思います。

126ページをお開きください。委託料として下水路等調査測量設計委託料1,200万円が計上されておりますが、説明書によりますと那古下水路の実施設設計をするとのこととありますが、この現場は市道と排水路が並行しており、下水路にふたかけをすれば道路として広く使えることができます。これらの設計に当たっては道路としても広く使えるようにふたかけをすべきではない

かと思うのでありますが、この点についていかがお考えでありますか、お聞かせをいただきたいと思います。

第7点は137ページの教育委員会費についてお尋ねを申し上げます。県民だよりの3月号に「社会の変化に対応した高校を」と、特集を組んだ報道がされておりますが、この中で改変推進協議会から答申が出たと書かれておりました。安房郡市は南2区と区分されて、現在の安房高、南高、館高、水産高校、安房農、長狭などの高校の再編が具体的に検討されております。安房郡市における高校がどのように再編をされていくのか、このことは館山市の教育にとっても、市民にとっても大変重要な問題ではないかと思ひます。教育委員会はこの再編の内容がどのようなものなのか承知をしておりますか。また、このような重要な問題が市町村教育委員会のいわば頭越しに決められていってよいものでありましようか、どのようにお考えですか、お聞かせをいただきたいと思ひます。

第8点は178ページであります。債務負担行為として都市マスタープラン策定委託料が計上されておるわけでありまますが、急速な開発で乱開発が行われるのではなく、地域のよさを残しながら同時に必要な開発をしていくということは、きちんとしたプランのもとに行われるとすれば可能なことだと思ひます。都市計画の用途地域の見直しや土地の利用計画などをきちんとしていくことが必要であります。この都市マスタープランとはどのようなものをつくらうとしているのか、御説明をいただきたいと思ひます。

以上、8点にわたってお尋ねを申し上げましたが、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（渡辺昭夫君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

大きな第1の小さな第1点目、固定資産税及び都市計画税の増収の理由についての御質問でございますが、土地につきましては評価替えによる増が3,784万円、地目変換及び換地処分による増が1,116万円、免税点の引き上げによる減が977万円、差し引きで3,923万円の増額でございます。家屋につ

きましては新增改築による増が 9,093万円、評価替えによる減価分が 782万円、免税点の引き上げによる減が 419万円、差し引きで 7,892万円の増額でございます。償却資産につきましては企業の設備投資に伴う増が 3,237万円、免税点の引き上げによる減が 334万円、差し引きで 2,903万円の増額となりますので、総合計で1億 4,718万円の調定増となったものでございます。

次に、小さな第2点目、半島振興法による軽減額につきましては平成3年度は7社で1億 2,299万円の減額となる見込みでございます。

次に、小さな第3点目、都市計画税の税率を引き下げる考えはないかとの御質問でございますが、去る平成2年12月議会でも御答弁いたしましたとおり、公共下水道事業並びに館山駅周辺市街地整備事業を初めとする都市計画事業が今後ますます増大する状況にございますので、これらの貴重な財源として現行どおり課税してまいりたいと考えております。

次に、大きな第2の給食サービス事業についての御質問でございますが、今回民生委員及び館山市社会福祉協議会の協力により、食事サービスに関する調査を実施いたしました。対象者は市内に居住するひとり暮らしの65歳以上の方々 971人で、そのうち 833人、85.8%の回収率でございました。その結果、有料、無料あるいは希望回数等、内容はさまざまでございますが、何らかの形で食事サービスを希望する方が 214人でございます。また、食事の支度につきましては自分でつくと答えた方が 777人となっております。現在、給食サービスを館山市社会福祉協議会においてボランティア等の協力により、月2回または3回実施しておりますが、今回の調査を踏まえてこれらのボランティア活動を尊重しながら今後館山市社会福祉協議会と協議して対応を考えてまいりたいと考えております。

次に、大きな第3の児童クラブ ― 学童保育の目途についての御質問でございますが、前回小学校1年生から3年生までのいわゆる留守家庭児童について調査いたしましたが、さらに新1年生の状況の把握や実施場所、方法、指導者等、行政内部での体制を協議いたしまして、今後保護者の具体的な意向を調査し、前向きで検討をしてまいりたいと考えております。

次に、大きな第4の小さな第1点目、館山港周辺の協定についての御質問

でございますが、関係事業者と館山地区連合区長会との間に昭和62年協定が締結されております。

次に、小さな第2点目、排水路浄化施設設置工事の年次計画についての御質問でございますが、本年度実施いたしました排水路現況調査をもとに公共下水道整備計画との整合を図りながら、平成3年度から3カ年計画で浄化施設設置を計画しております。

次に大きな第5、栈橋補修工事について御質問でございますが、この工事請負費は平成2年9月19日の台風19号によって被災した那古栈橋を補修するものでございます。工事の完成は夏の海水浴シーズンに間に合わせるようにしたいと考えております。

次に、大きな第6、下水路等調査測量設計委託料の中の那古下水路の整備についての御質問でございますが、当地域は道路事情が悪いため、道路整備の必要性の高い地域であると認識しております。以前から市議会議員の方々及び地元町内会等から水路と道路の一体的な利用についての要望があり、調査検討を行ってまいりましたが、その結果、必要なところにつきましては水路の改良とあわせて道路の拡幅を行ってまいりたいと考えております。

大きな第7の高校問題につきましては教育長から答弁いたします。

次に大きな第8、都市マスタープランはどのような内容のものかとの御質問でございますが、館山市総合計画を受けまして、長期視点に立ち、都市構造、都市施設及び土地利用等について都市計画の観点から将来像を検討し、均衡のとれた都市づくりを効果的かつ効率的に推進するための基本的な計画でございます。

以上、答弁終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 福原教育長。

（教育長福原 修君登壇）

◎教育長（福原 修君） 大きな7、教育委員会費、高校再編成問題につきましてお答えをいたします。

生徒の減少期、国際化、情報化等の社会の変化に伴い、高校進学希望者の価値観も多様化しておりますので、このような変化に対応するため、千葉県

教育委員会では高等学校改変推進協議会に諮問し、答申が出されました。その内容等につきましては、答申書あるいは新聞紙上等で把握しております。県民だによりによりますと、安房地区では安房水産高等学校に水産食品科が平成3年度より設置され、既に生徒募集も行われておるとのことでございます。なお、今後千葉県教育委員会から詳細が示されると思いますので、進路指導につきましては中学校長と十分協議してまいりたい、このように考えております。

以上でございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 11番議員神田守隆君。

◎11番（神田守隆君） まず、固定資産税及び都市計画税に関してお尋ねいたしますが、それぞれの増税の理由についての御説明がありました。そこで、減税の問題でありますけれども、半島振興法の特例で7社で1億7,000万円というふうな数字で減税がされるということでありましたけれども、従来からのお話ですと7社といった場合に、飛び抜けて1社がそのうちのほとんどを占めているというのが実例でございましたので、このうち1社で一番多いのは幾らになるのか。どこの会社かというのを言うのは差しさわりがあるかと思えますから御答弁いただけないかと思えますけれども、少なくとも1社、最高のところはこのうち幾らですかということでお答えをいただきたいと思います。

それから、次に給食事業については今後実施をということで前向きに検討されていくようでありますから、非常に期待をしていきたいなと思っております。せんだっての赤旗新聞でも鹿児島県の隼人町のことが詳しく載せられて、先ほどもお話ししましたけれども、100人からの方に朝夕1日2回、毎日、365日給食やっている。大変なことだろうと思えますけれども、これがもう13年も前からやっている。そういう町もあるわけですから、館山市の状況からすればそれに劣らずすぐれた給食事業が実施できるのではないかなと思いますので、そうした実例をよく研究されて、実施に向けての段取りを進めていただきたいと思います。

学童保育の問題でありますけれども、前向きに検討されていくということに

については非常に理解もするのですけれども、しかしまだ検討すべき事項がかなりあるようですね、今の御答弁によりますと。保護者の意向の調査ですとか実施場所の問題ですとか、あるいは指導者をどうするですとか、前向きに前向きにという御答弁はあるのですけれども、段取り的には何か進んでいないのではないか。前向きだということはわかるのですけれども、しかし実際に、ではいつになるのかというのが先ほどの御答弁でもなかったわけで、確かに詰めなきゃならぬ問題がたくさんあるかと思いますが、おおむねいつごろを想定して、この4月からはちょっと無理でしょうけれども、来年の4月ぐらいのことを考えて、この検討を進めていく、こういうおつもりなのかどうかお聞かせいただきたいと思います。あるいはそれよりもっと早く夏休みごろからできるぐらいのつもりでやるのですか、お聞かせいただきたいと思います。

それから、環境衛生費の関係であります、昭和62年に館山港周辺の区長会との間で会社とが協定を結んでおるということでもありますけれども、しかしながら依然としてこの住民の方々から非常に朝早くから夜遅くまでダンプカーが行き来をして、騒音等でおちおち寝られない。休日も最近は大変好景気を反映してか休みなしにダンプカーが走り回るということで、休日もゆっくりできないというような声が聞かれるわけなのですが、こうした協定が現状守られているという理解をしていいのか。あるいは協定の内容そのものに問題があるというふうに、協定を守られているのだけれども、周辺住民のこうした苦情に対応できないということなのか、これについて市はどのように指導していくというお考えがあるのかどうか、お聞かせをいただきたいと思います。

それから、排水路の問題でありますけれども、年次計画で、3カ年計画で浄化施設をつくっていく。今年度の計画ですと大体汐入川を中心として、その浄化対策ではないかなというようなことに思うんですが、そこに重点を置いているのではないかなと思うんですが、そればかりじゃなく、那古の海水浴場の問題も大変大きな浄化対策の問題もあります。私も那古ですから非常に住民の方々から強い要望も出されておるんですが、この3カ年計画の中では

那古の排水路の浄化施設、これはどういう年度で検討されておるのかお聞かせいただきたいと思います。

港湾管理費についてはわかりました。

那古の下水路の関係についても結構です。

教育委員会の関係でありますけれども、生徒がこれから10年後には大体高校の生徒が30%ほど減少するというような見込みのもとで、これは大変なことだと思います。この第3次答申が先ごろ出されておりましたけれども、この下敷きになっておる第2次答申によりますと、水産高校や農業高校については具体的な数字でクラス数を50%減らす。家庭科関係は75%減らす。商業関係では30%減らす。工業関係で20%減らす、こういうような基本的な方向が打ち出されているわけです。この安房地域は南2区ということで位置づけられて、これがそのままその数字で来るとなるとこれは大変な話になるのかと思うのですが、一面この南2区では普通科率——普通科ですね、これの比率を高めるという住民要望があるからこれにに応じておく必要があるんだという、こうしたことも書かれているわけであります。

いま一つ、この南2区の具体的な改変の内容、これはやはり住民にとって一番知りたいことですね。本当に水産あるいは農業が50%になっちゃうのかどうか、クラス数が。これは大変大きな問題を持ちます。高教組等の推定資料などを読みますと、商業科はなくなるんじゃないかというような推定もされているわけであります。これが本当にそうなるのかどうなのかというのはいま一つ状況がわからないわけなんです、こうした安房地域の教育の上で、高校がどのように再編されていくのかというのは非常に大きな教育基本問題だろうと思うんですね。そういう点から、この再編の内容そのものは直接は県の教育委員会が所管する事項ではありますが、しかしこの地域の教育に非常に大きな影響を持つ問題として、市の教育委員会としてもこの問題について、やはり物も言っていかなければいけないのではないかな。これがどういう機会やどういうチャンスがあるのかというのはいろいろな考え方もあろうかと思うんですが、市の教育委員会としてもこの辺についての論議をして、市の住民の意見、住民の考え、こうしたものもよく調査をして、市と

しての考え、市教委としての一つの方向なり、考え方なりをやはり持っていく必要があるんじゃないかなと思うんですが、その辺は県教委任せでいいものでしょうか。この辺についてのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

マスタープランの問題については、これは非常に大きな問題をたくさん持っている問題で、なかなか秩序ある開発といいますか、こういうことが課せられて、ともするとどこでも乱開発が進められるという問題が大きな問題になっているわけです。そういう中で、この豊かな自然を保全をしつつ、同時に必要な開発も進めていく。こういう点では急速な乱開発につながるような開発というのは一刻も早く手を打たなきゃいけないと思うんですね。そういう点ではこうしたマスタープランをつくるということについては、私大変期待をしております。しかし、一面運きに失したんではないかという危惧を感じさせるところもあるわけなんです、こうしたマスタープランの策定は急ぐ必要がいずれにしろあると思うんですが、これはどういう時期できちんとしておきたいというふうにお考えでありますか。その点についてお聞かせいただきたいと思います。

◎議長（渡辺昭夫君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 半島振興法による1社での最高軽減額でございますが、1億二千余万円でございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 民生部長。

◎民生部長（佐藤澄雄君） まず、学童保育につきまして、この時期はいつかという御質問でございますけれども、市長が答弁いたしましたとおり大変慎重を要する事業でございます。現在、教育委員会の方とも協議しながら実態調査を済ませたところでございますけれども、今後教育的な立場、また子供の安全や健全育成の問題、また保護者の意向等、さらなる調査研究が必要ではないかというふうに考えております。したがって、時期についてはいつこの制度を発足するということは現時点ではお答えしにくいというふうに判断しております。

それから、次に館山港周辺の公害の防止協定の問題でございますけれども、朝晩非常に騒音でうるさい。この協定が守られているのか、また指導はどう

かという御質問でございますけれども、この協定は先ほど市長の方から答弁いたしましたけれども、関係事業者6社とそれから館山地区の連合区長会とが協定を結んでおるわけでございます。したがって、市はこの協定の立会人という立場で関与しているわけでございますけれども、この協定の中に特に御指摘の朝の堆積場の操業時間、これは協定の中身は午前7時から午後6時までという一応の協定になっております。私どもとしましては、協定が守られているというふうに判断しておりますが、周辺の住民の方々の苦情等もあるということでございますので、そういう事実関係を調査しまして、いわゆる当事者及びこれに関係します関係機関等に連絡して今後このような問題が起こらないように指導していきたいというふうに考えております。

次に、浄化施設的那古下水路の計画時期でございますけれども、3カ年計画の最後の平成5年度の予定でございます。

以上です。

◎議長（渡辺昭夫君） 福原教育長。

◎教育長（福原 修君） 高等学校の改変という問題はもちろん非常に大きな問題でございます、地域の市町村の教育関係にも大きな影響を与えますので、我々も決して無関心ではいられない問題であります。まさにその御指摘のとおりでございます。しかしながら、このような改変につきましては、私たちは絶えず意見を出しております。義務教育を担当しておる教育機関は3つございまして、千葉県教育委員連絡協議会、それから都市教育長協議会——これは館山市、私等が所属しております。それから町村教育長協議会、この3団体ございまして、3団体絶えず会合を持ちまして、お互いの地域のそれぞれの教育的な問題を集めまして、そしてこれを県の教育長あるいは知事等に提案いたしまして、我々の考え方はこういうものでございますとずっと伝えております。

それから、また高等学校の立場、県の方の立場から申し上げますと、必ず県教育委員会は、このような改革する場合におきましては必ず地域の中学生あるいは教育関係者の意向、そういうものを十分調査いたしまして、それからその意見を集約いたしまして、その地域の適性にあった改変を行ってい

るわけでございまして、全然地域の要望を無視するとかあるいは市町村の教育委員会の意向を無視するとかということはございません。今度の改変協議会におきましても、我々教育長の代表といたしまして千葉市の教育長が改変協議会に名を連ねていろんな意見を述べている。そして、いろいろな会議の推移につきましてはまた我々の会議の方へ持ち寄りまして我々の意見を聞く、このようなプロセスをとっております。

以上でございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 経済部長。

◎経済部長（安西良一君） 都市マスタープランの関係でございますけども、策定は急ぐ必要があると思うがいつごろまでに完成するのかという御質問でございしますが、これにつきましては現況調査あるいは問題点、その解決策、こういうことでいろいろと検討をする期間がかなり長くなるわけでございます。しかしながら、御提案のようにやはり急ぐ必要があるということから、遅くとも平成4年度末までには完成したいというように計画しております。

以上です。

◎議長（渡辺昭夫君） 神田守隆君。

◎11番（神田守隆君） 教育長にお尋ねいたしますけれども、私は第2次答申の中でこの南の2区には普通科率を高める必要があるんだ——これはこれまでもいろんなところで住民の方からも意見も聞いていましたし、それはそれなりに意見が入れられている面があるなということも感じております。したがって、ですからそういう点もわかるわけでありましてけれども、しかしながら今現実にかこうした最終答申が出されたという中で、南2区に関してはどうするのか、この学区再編の中でこの安房の職業高校、これがどういうふうに具体的な案として出るのかとなるとさっぱりわからないんですね。これは、わからなければ意見の出しようもないというのは現状だろうと思うんです。しかし、一体これから住民の意向等が十分酌んでいける、そういうような保証なり何なりというのはあるのかどうか、大変不安を持つんですね。これはあくまでも最終答申として出されておりますから。そうすると、今お話があっていろいろそれぞれの意見を反映していく場があるんだというんです

けれども、果たしてその前に住民の意向等を市教委がしっかりつかんでやっていける、十分反映してもらえるというふうにお考えになっているのかどうか、お聞かせいただきたい。

それから、そもそもこういう大事な問題が市教育委員会の中でどうあるべきか。この論議をされてきた、こういう経過はあるのかどうか、これですね。それがなければ教育長さんとしても、市教育委員会の意見はこうだということで、県の方に物を言うということもできないでしょうから、その辺で市教委の中でこうした高校再編問題についての論議がされた経過があるのかどうかという点ですね。お聞かせをいただきたいと思います。

以上です。

◎議長（渡辺昭夫君） 福原教育長。

◎教育長（福原 修君） 県立学校はやっぱり県教育委員会の管理でございますので、直接には私たちには関係ございませんから連絡はないわけでございます。ですから、安房郡における普通科、商業科、農業科等の、あるいはその他の――館山高校には工業科等ございますから、そういうような科がどのように変わっていくかということは何も私たち承知いたしておりません。

ただ、第3次答申等見ますと、やっぱり普通科もいろいろな英語科とかそういうのを設けたらよろしいんじゃないかと、あるいは農業科にはいろいろな情報関係等を入れたらよろしいんじゃないかと、いろいろな提案がなされておりますので、いずれかは、いつかはそういう今までの普通科であるならば大学進学を目標とするだけの普通科だけでは地域住民の、地域の中学生の進路の要望に応ずることはできなくなるだろう、こんなように私は考えております。また、非常にコンピューター等が――いろいろと情報化等の時代が来ましたので、商業科とか工業科、農業科等も変えていかなきゃいかぬだろうと思います。

この食品水産科なんていう科が水産高等学校にできましたけども、これもやはり水産高等学校に対する入学希望者、非常にもう減りまして、ただ今度も再募集するのは水産高等学校だけというような状態でございますし、現在までの水産高等学校で教えたいわゆる科目がやはり中学生の希望に応ずるこ

とができなくなってきたんじゃないか、こういうような判断から新しい — 何か聞きますとただ水産食品科という名前ですけども、これはただつくって、そして商業関係の勉強し、流通関係の勉強をして、そして情報なんかも取り入れまして、そういう総合的な何か学科だそうございまして、こういう科を設けたならば水産希望の生徒も若干ふえるんじゃないだろうか、こういうような一つの期待を持っているんじゃないかと思いますが、そういうことで県の定めることでございますから、直接私たちには情報は来ておりませんが、こういうことをやる場合は私は県立学校におったものですから相当承知しておりますけれども、非常にもう1年前あたりからいろいろとPRしまして、そして今度はこういうことやります、安房郡の高校はこう変わりますよということは非常に詳細に連絡をしてくださいます、それで中学校の校長等もう十分そういう承知をした上で生徒募集を行う、こういうふうになっております。

館山市の教育委員会といたしまして、そういうのをいろいろと論議をしたことがあるかというような御質問でございましたけども、残念ながら今までは — 改変問題等は今急に出てきたんでございまして、これを資料にいたしましてやろうかと思っています。今まではそういうこと検討、論議したことありません。

以上でございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で11番議員神田守隆君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告しない議員で御質疑ありませんか。

山中金治郎君。

◎13番（山中金治郎君） 通告してございませんので本当に簡単にお伺いさせていただきますが、この事項別明細書によって質問させていただきます。その前に本年度の予算が128億8,800万ということで、前年度対比13億5,300万ふえております。これは今まで前年度の決算に比較してまた次の予算が随分減るというふうな傾向を続けておりましたが、今年度については元年度の決算にほぼ近いような数字、大体目いっぱいものを組んだことだと思

ます。これは財政当局の真剣な努力でこのような数字が上がったと思います
て、これは本当に敬意を表するわけでございますが、今後もこのような考
え方で予算編成をしていただきたいと思います。

そこで、2点ばかり質問申し上げますが、この事項別明細書によりますと
地方交付税が前年度対比の減額で2億2,400万減額されております。この数
字は市税の増額が2億2,300万されておりますが、これに何か近いような数
字ですが、これは湾岸危機による政府の諸外国への支援対策で交付税が切り
詰められたのか。また、交付税の対象事業がたまたま少なかったのか。また、
今後この増額の見通しがあるのかどうかという点についてひとつお願いしま
す。

それと、もう1点はこれは歳出の方の土木費が1億5,000万減額されてお
ります。前年度対比ですね。これは今度は経済部を分割をして、多様化、高
度化する行政需要に対応するために経済部と建設部に組織替えをするという
ことで、かなりこれは土木関係に力が入っていると思いますが、それに対し
て昨年度から1億5,000万も減ったということについては、その減った分の
ことについては今後補正を組む用意があるのかないのか、その2点について
お伺いをいたします。

◎議長（渡辺昭夫君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 交付税の減額でございますけども、湾岸危機と
いうことではございませんで、一応全体の算定の中で県からの交付がこうい
うふうになったということでございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 経済部長。

◎経済部長（安西良一君） 今ちょっと資料取り寄せますので……。

◎議長（渡辺昭夫君） 暫時休憩します。

午前10時53分 休憩

午前10時54分 再開

◎議長（渡辺昭夫君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

経済部長。

◎経済部長（安西良一君） 都市計画絡みの関係で、運動公園の関係でござ

いますが、これで1億2,300万の減でございます。それから、あと都市下水路の関係でございますが、それで1億2,000ばかりの減がございます。大体大きいものではそんなところでございます。

以上です。

◎議長（渡辺昭夫君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） それから、先ほどの交付税の件ですけど、ちょっと主なものだけ1つ申し上げますと、財源対策債が減りまして、1億4,000万ばかり減ったということで、それが主なものでありますので、そのほかはあと調整ということでございます。

以上です。

◎議長（渡辺昭夫君） いいですか。

◎13番（山中金治郎君） 終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 他にありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第1号乃至議案第7号平成3年度各会計予算につきましては、10人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

重ねてお諮りいたします。ただいま設置されました予算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第5条第1項の規定により、

1番議員 脇田 安保君

3番議員 田沢 勝信君

6番議員 山崎 雅己君

9番議員 山口 康雄君

12番議員 榎本 春光君

16番議員 石井 昌治君

17番議員 石井 謀君

18番議員 日下 君敏君

23番議員 流山源次郎君

27番議員 林 豊君

以上10人を指名いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

ただいま選任されました予算審査特別委員会委員の方々は、後ほどこの議場において正副委員長の互選を行いますので、御了承願います。

延 会 午前10時58分

◎議長(渡辺昭夫君) お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明3月13日から21日まで、委員会での議案審査のため休会、次会は3月22日午前10時開会といたします。その議事は、議案第1号乃至議案第7号、議案第9号乃至議案第22号等にかかる各委員会における審査の経過及び結果の報告、討論、採決並びに追加議案の審議といたします。

この際、申し上げます。各議案に対する討論通告の締め切りは3月22日午前9時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第1号乃至議案第7号

1 予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任